

PV施工技術者制度で認証研修に用いる教材「PV施工技術者 研修テキスト」の訂正・追加等

- (1) 文章の訂正及び追加を「正誤表」に示します。
- (2) 住宅用太陽光発電システムに関し、研修テキスト「5章 5-1 導入手順概略」(114ページ、115ページ)に設備認定と年次報告に関する項目を追加。

正誤表の「正」への読み替えと114ページ、115ページの差し替えをお願いいたします。

(1) 正誤表

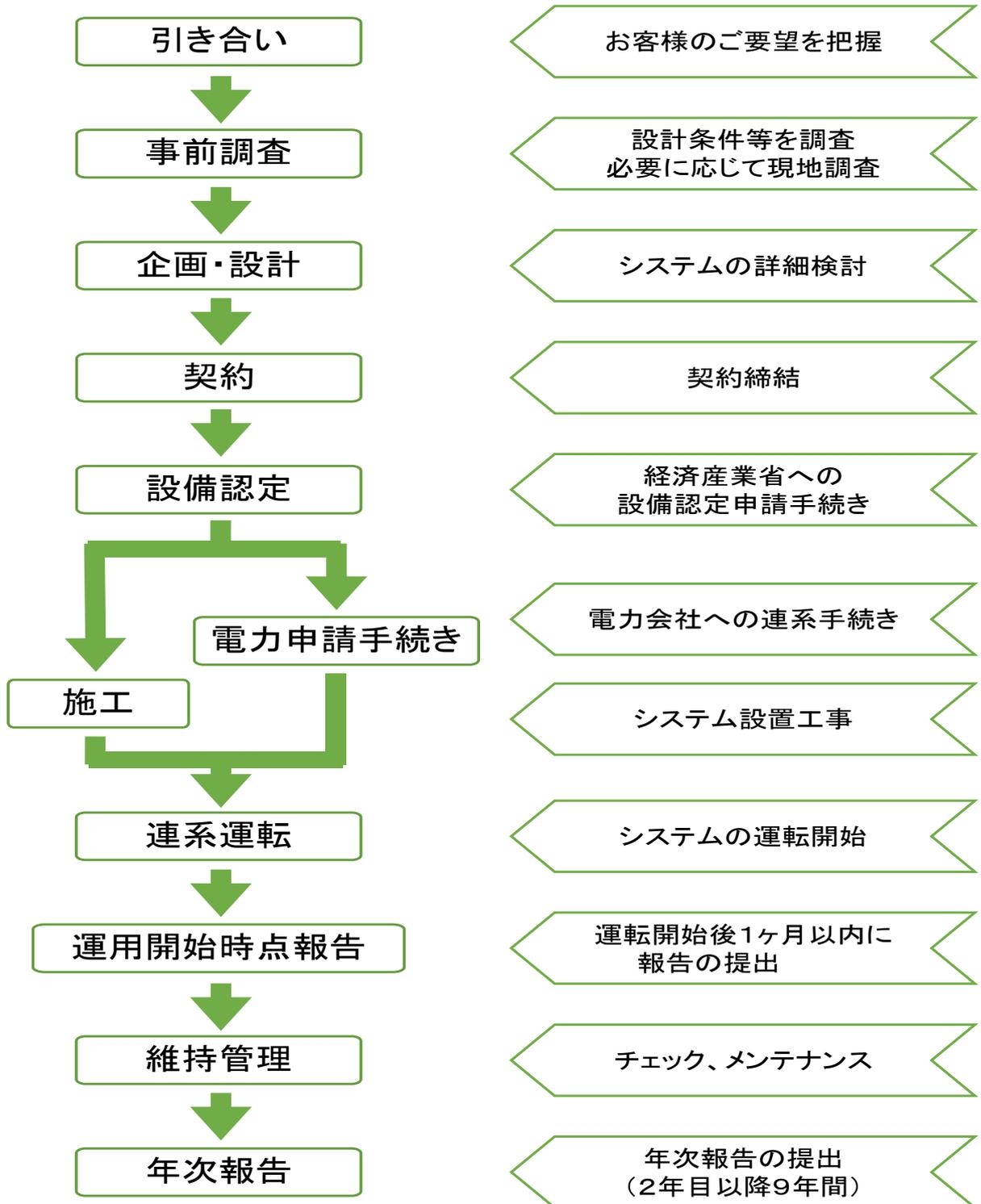
正誤表		
訂正箇所	誤	正
(訂正・追加) 110ページ 第4章 4-5① 下から6行目	ALC(軽量 発砲 コンクリート) 軽量 発砲 コンクリート (autoclaved lightweight aerated concrete) と呼ばれるものでコンクリートに気泡を入れ軽く熱に強いパネル。 ただし、軽石状のためビスが効かない。	ALC(軽量 気泡 コンクリート) 軽量 気泡 コンクリート (autoclaved lightweight aerated concrete) と呼ばれるものでコンクリートに気泡を入れ軽く熱に強いパネル。 ただし、軽石状のためビスが効かない。 専用のビスが必要。
(追加) 237ページ 第10章 10-2② 下から8行目	4. 設置場所の確認 (1)施工、保守、点検が容易な場所に設置する。 (2)冷却のため周囲に必要なスペースを設ける。 (3)塵埃の多い場所、結露の恐れがある場所、腐食性ガス雰囲気中などへの設置は避ける。	4. 設置場所の確認 (1)施工、保守、点検が容易な場所に設置する。 (2)冷却のため周囲に必要なスペースを設ける。 (3)塵埃の多い場所、結露の恐れがある場所、腐食性ガス雰囲気中などへの設置は避ける。 (4)屋外設置タイプは直射日光をさける。
(追加) 241ページ 第10章 10-3① 下から7行目	原則として電線管で保護する。	原則として電線管 等 で保護する。
(追加) 244ページ 第10章 10-3② 上から4行目	原則として電線管で保護する。	原則として電線管 等 で保護する。
(訂正) 318ページ 第14章 14-2 下から13行目	Q35. フ ロッキングダイオード(逆流防止ダイオード)とは何ですか?	Q35. ブ ロッキングダイオード(逆流防止ダイオード)とは何ですか?

(2) 研修テキストの114ページ、115ページの差し替え文章

5-1

導入手順概略

- 住宅用システム導入の概略手順を述べる。
- 以下の手順のほかに、補助金等の支給を受ける場合は、別途申請手続き等が必要である。



解 説

各工程において行なう主な作業を次に示す。

1. 引き合い
 - ・ 設置場所、設置時期、ご予算の確認
 - ・ システムの種類、規模の希望確認
2. 事前調査
 - ・ 機器設置場所、スペースの確認
 - ・ 建物構造、屋根仕様、屋根勾配・方位の確認
 - ・ 周辺環境(積雪、落雪、陰、塩害など)の確認
 周辺の建築物、樹木などの陰が発電に影響を与えないか確認
 モジュールに積った雪の落下により、隣家の壁・カーポート等に被害を与えるおそれがないか確認
 モジュール表面での反射光が近隣に影響を与えないか確認
 - ・ 設計条件(防火基準、基準風速、積雪量、風致地区、その他条例など)の確認
 - ・ 電源系統の種別、仕様の確認
3. 企画・設計
 - ・ 用途負荷の想定：用途の想定、負荷量の想定
 - ・ システム基本設計：アレイ容量の決定、システム構成の検討、設置場所の選定設置方法の決定、方位角・傾斜角の選定
 - ・ 太陽電池アレイ設計：太陽電池モジュールの選定、アレイ直並列の決定、架台設計
 - ・ 周辺機器の選定：パワーコンディショナ、接続箱、分電盤、積算電力量計、表示装置等、システム構成機器の選定
 - ・ システム特性の計算：発電量予測
 - ・ システム価格の試算：見積書作成
4. 設備認定申請手続き
 - ・ 経済産業省への設備認定手続き
5. 電力申請手続き等
 - ・ 電力会社への手続き（系統連系協議、系統連系申し込み、電力需給契約など）
6. 連系運転
 - ・ 電力会社立会いのもと、システムの連系運転開始
7. 運転開始時点の報告
 - ・ 運転開始1ヶ月後に経済産業省へ報告
8. 維持管理
 - ・ 日常点検、定期点検の実施
9. 年次報告
 - ・ 2年目以降毎年の年次報告